



なごみん



わが町の人物紹介

第123回

やさしく笑顔で寄り添うゲートキーパー



▲ ひきこもりを考える会
ゲートキーパー「おじぎ草」

大庭 和子 さん



▲ 家族の集い

今回はひきこもりを考える会ゲートキーパー「おじぎ草」(以下、おじぎ草)の代表者、大庭和子さんをご紹介します。

大庭さんは、ひきこもり状態で悩んでる方やご家族、関係者の方に寄り添いたいという思いから、6年前におじぎ草を創設しました。活動を通して、さまざまなつながりをつくることで孤独を防ぎ、各々の人生をどう充実させていくかを共に考えることを目的としています。

大庭さんは笑顔で「私は特別なことはしていません。自分の経験を話すだけで、決してアドバイスや否定はしません。相談に来られた方がそれぞれ思いを自由に語ることができ、その中で解決方法のヒントが見つけれたらいいなと思っています。」と話します。大庭さんご自身の体験を生かし、相談に来た家族の気持ちを受け取り、労をねぎらい、共に考えていくスタイルは、6年前からずっと変わりません。そんな大庭さんの考えに共感し、たくさんの方が活動を支えています。

おじぎ草のメンバーは現在6名、意見交換をしながら日々活動しています。最近では、ひきこもり当事者と家族の安心できる居場所づくりを目的に、当事者とその家族と一緒に参加できるクラフトバンドやアロマキャンドル等のものづくりイベントを企画しています。ほかにも8050問題を取り上げた啓発ポスターを地域交流センター等のギャラリーに展示したり、臨床心理士の講演会やひきこもり経験者の家族の交流会・相談会などを行ったりなど、悩みを持つ方にやさしく寄り添う活動を続けています。



7月～8月の催し案内

◆告知

「岡崎聾学校」と「地域」がつながるプロジェクト

第1回 手話でつながる

内容:手話を覚えて聾学校生徒と交流しよう!

日時:8月20日(金)14:00～15:00

定員:15人

場所:なごみん3階ホール

申込:8/17までに電話またはFAXでなごみんまで

協力:岡崎聾学校中学部生徒



▲ 昨年の手話講座の風景

【つながるプロジェクトとは】

なごみんで、〇〇さんと□□さんがつながるきっかけをつくる催しです。

今回は、**岡崎聾学校中学部の皆さんの「聾学校の取り組みを知ってほしい」、「手話で交流したい」、「自分たちの手話コーラスを見て・聴いてほしい」という想いを受け取り、つながりをつくります。**

手話に感心がある方、聾学校の生徒たちと一緒に活動したい方は、聾学校への理解を深めると共に、手話交流を通して生徒たちと**つながる**きっかけづくりに本講座をご活用ください。

なごみんからのお知らせ

●作品展示

❁ 岡崎華道連盟

場 所:1階待合スペース

内 容: いけばな展示

◆岡崎市総合政策部企画課 ロビー展示

日 時:7/13～20

場 所:1階ロビー

内 容:(仮称)太陽の城跡地の利活用方法についてのパネル展

◆高校生とつくる矢作商店会紹介マップ

日 時:7/13～18

場 所:1階ギャラリーストリート

内 容:高校生と一緒に作成した矢作商店会の紹介マップと作成風景の写真や紹介ポスターの展示

●Pick Up!!

新任紹介

新しいスタッフが加わりました



5月1日より、スタッフに加わりました、山中と申します。

早く仕事を覚え、お役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

●最新の情報をチェック

新型コロナウイルスの動向により、活動室やプレイルーム、交流スペース等の運用を適宜見直します。なごみんのホームページで最新情報をご確認ください。

▼なごみんHPはコチラ



情報誌「なごみん」 >>> 地域の情報、まちづくりに関する情報をお寄せください。

編集・発行: 岡崎市北部地域交流センター・なごみん

所在地 岡崎市西蔵前町字季平45番地1

電話: 0564-66-8251 FAX: 0564-45-1521

メー ル: nagomin@m3.catvmics.ne.jp

開館時間: 9:00～21:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3

発行責任者:
(指定管理者)



特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンター・LIFE

